

1. 新型コロナウイルス緊急ささえあい基金入金・出金明細(～8月8日)

収入部門			支出部門					
	件数	金額		件数	宿泊給付	生活給付	交通費	計
ささえあい	2,091	79,365,952	直接手渡し給付	94	613,000	1,470,000	83,500	2,166,500
犬猫基金	280	4,001,464	団体連携手渡し給付	51	189,000	998,000	2,000	1,189,000
			犬猫基金	10	50,000	484,080	0	534,080
			移住連外国人給付	543	0	18,120,000	5,000	18,125,000
計	2,371	83,367,416		698	852,000	21,072,080	90,500	22,014,580
								61,352,836

2. 反貧困ネットワークを通じた緊急給付の現場から見たこと

相談者からの SOS に基づき、相談者が待つ場所に向かい、緊急宿泊費と生活費を給付、福祉制度の案内に留まらず、生活保護申請などの助言、申請日時と支援者同行までのアセスメントまでおこなってきた。

【特徴】

- \* 相変わらず、所持金が千円を切った状態での SOS が多い。20代～40代が多い傾向は更に強まる。
- \* 以前からネットカフェなどで暮らし日雇い及びスポット派遣で収入を得ていたが、コロナで収入が途絶え、路上で生きるしかない。アパートを借りる費用がない事例が多い。6月以降の仕事に期待していたが、仕事が入らず、再 SOS が来て、生活保護申請をおこなう事例
- \* 社員寮に入寮していたが、コロナ影響で雇用を打ち切られ、退寮させられた。
- \* 携帯電話が止まっている方からの相談が多数 その後のアパート契約が困難な為、つくろい東京ファンドの携帯アプリを貸し契約につなげる事を開始
- \* 給付金が支給されても滞納家賃や税金支払いなどで消えていき、今後の家賃が払えない。生活費に困窮しているとの相談が更に増加
- \* 移住連からの要請に基づく、「支援からこぼれ落ちた外国人」の給付支援は引き続き多いが、直接支援を求める SOS も増えている。殆どあいかなる公的支援も受けることができないし、就労も許可されない在留資格と仮放免

3. テーマ別の動き

【SOS と生活保護申請同行の現場から】

1. 「つくろい東京ファンド」がスマートフォンの無料貸し出し

生活が困窮し携帯電話料金を払えなくなった人らを対象に、「つくろい東京ファンド」がスマートフォンの無料貸し出しを始め、「新型コロナ緊急アクション」でも利用を開始している。期間は最長2年。仕事や住まいを失う人が相次ぐが、就職活動や家探しではいつでも連絡のとれる携帯電話がないと難色を示されることが少なくない民間団体や社会福祉法人で支援を受けている人が対象。コロナによって生活が苦しくなった人に加え、親から虐待を受けていて電話を持っていない人も想定している。

## 2. 東京都23区福祉事務所所長会議にて、区市ごとの生活保護行政の問題と改善を求める問題提起

①〇〇区福祉事務所所長をつうじて「7月20日の東京都23区福祉事務所所長会議にて、他区市の問題事例を報告し、改善を求める問題提起をおこなっている。「新型コロナ災害緊急アクション」では、支援者による同行支援を行ってきたが、対応で問題事例が多い福祉事務所がある一方で、板橋区のように、相談者の事情に応じた対応ができる福祉事務所に申請者が集中し、業務を圧迫することが懸念される。対応格差の解消に向けた取り組みが必要である。

②生活保護申請受理日から保護決定、初回保護費支給までの期間の生活費としての前払い金を、日当たり換算で2,400円渡している。②その後のアパート転宅に向けたサポートを、委託先の「東京援護協会」と連携して実施している。生活保護申請受理後、ケースワーカーとの面談前後に、「東京援護協会」の相談員とアパート転宅に向けた相談をおこなっている。他区市ではない取り組みである。

## 3. 「生活保護費大幅削減反対！三多摩アクション」無料低額宿泊所問題自治体調査 神奈川・千葉でも開始

「生活保護費大幅削減反対！三多摩アクション」では、多摩地域の生活保護行政の中での、無料低額宿泊所問題に取り組んでいる。住まいがない方の生活保護申請の際に、居宅保護の原則に沿った対応をしない行政改善に取り組もうとしている。生活保護申請時の対応について、多摩地域の行政窓口の対応含め、調査をおこなっている。この取り組みは、同様の問題を抱える東京区部、神奈川県、千葉県でも自治体議員が中心になり取り組みが開始されている。

## 4. 事例報告① 生保利用の条件は無低を絶対条件にして、入所させられた無低は強制収容所(8月15日)

埼玉県中央部にあるH市に向った。20代のM君の悲痛なSOSだった。離島から首都圏にでて働きにでてきた。しかし、寮付きの住み込み派遣しかなかった。生活保護は初めての利用です。コロナの影響で寮付き派遣を追い出され、埼玉県中東部にあるA市で生保申請し5月から利用開始している。ここでも生保受理の条件が施設入所だった。M君が入所させられたのは、鉄道路線も違い、最寄りの駅から徒歩50分、A市役所に通うには2時間もかかる。H市のSSSが運営する無低に入所させられた。A市の生活保護費は10.5万円、しかしSSSに施設費用として7.9万円が徴収されていた。食事も2食のはずだが、大した理由でない制裁で1日1食にさせられている。携帯電話代を引けば所持金は1万円を切る。求職活動の交通費も年捻出できない。門限の21時を三回破ったら強制退去だ。CWとも面談は一度もなし、SSWに丸投げです。来週に市役所に一緒にいき、CW及び上司含め、実状を報告し、アパート転居と転居費用、家具什器費の支給を要求します。

## 5. 事例報告②体脂肪率を11%減らしたら家賃が1万円まで下がる悪質シェアハウス(6月20日)

緊急SOSを受けて都内の\*\*駅でお会いした20代前半の女性Cさん、飲食業のバイトがコロナの影響で激減し、所持金もあと僅か、住んでいるシェアハウスの家賃滞納が1か月、今月払わないと訴訟を起こすと言われた。本人に連日の催促電話攻撃を繰り返す。

Cさんが持参した賃貸契約書や同意書は予想以上に借主の権利が弱い内容だった。1か月でも滞納したら家賃保証会社が債務請求を繰り返す旨の内容が明示されていた。不可解なのは①ネットで表示されている借主支払い金額より1,5万円高い。都心でないのに狭くてやたらに高い。4,5畳で5万円を超える。②2年間住まずに転居する場合は、退去時費用として計10万円程度が請求される。③契約書とは別に「肖像権承諾書」の同意書を締結させられていた。ネットやSNSなどに写真が流出してストーカー被害の可能性も否定できない。④入居6か月以内に合計2回のインタビューを受ける。1回目のインタビューを受けると初回月賃料無料、但し2回目のインタビューを受けないと、後で賃料返還請求となっている。地方から東京で働きたいけど、お金がない女性を利用する悪質性が高いシェアハウス事業としか思えない。コ

コロナ影響で収入が減少している女性に容赦なく、連日の滞納催促をおこない、訴訟を起こすと脅す。この管理会社は「痩せたら家賃が1万円まで下がるシェアハウスの提供を始めている。入居者は入居契約時と毎月、体脂肪率の測定を行い、定められた体脂肪率が減った場合、翌月の賃料を最大1万円まで割引するらしい。これがコロナ影響で顕在化した悪質脱法ハウスの実態だ、

### 【公的支援からこぼされた外国人】

コロナ禍の影響で、外国にルーツをもつ方々のなかでも生活に困窮する方が急速に増えている。反貧困緊急ささえあい基金給付金額の多くは移住連をつうじた「支援からこぼれ落ちた外国人」からだ。

#### 1. 「クルドを知る会」主催の相談会でささえい基金とお米をプレゼント

7月18日（土）25日（土）「クルドを知る会」主催の相談会でささえい基金とお米をプレゼントしています。私たち新型コロナ緊急アクションが取り組んでいる「反貧困緊急ささえあい基金」の生活給付金と「コメと野菜でつながる百姓と市民の会」の米を、支援を求めているクルドの皆さんに手渡ししながら、生活相談に対応します。クルドを知る会では、反貧困ネットワークの「緊急ささえあい基金」からの支援金を、非正規滞在の難民申請者家族の元へ、一軒一軒、届けて回ってきた。6月末現在で、埼玉県蕨川口の在日クルド人難民申請者に基金やお米で支援した人数は、すでに200名を超えています。コロナウイルスの感染者数が再び拡大する状況のなかで、訪問お届けを休止し、広い会場で時間を指定して、参加していただく方法に変更しています。密を避けてじっくり相談をうける事ができるよう工夫しています。

#### 2. 公的支援からこぼれた外国人への医療問題

クルドの方の窮状を踏まえ、医療生協さいたまの埼玉協同病院を訪問し、公的支援からこぼれた外国人への「無料低額診療」の実情をヒアリングさせて頂いた。

「無料低額診療」は、医療や介護が必要であるにも関わらず、支払いが困難な方に対し、病院の裁量で医療費等の減額や免除を行う社会福祉法第2条に基づく事業です。仮放免などの外国人には就労が認められず、生活保護の受給や国民健康保険への加入もできず、医療費は全額自己負担、医療の頼みの綱が無料低額診療、しかし公的補助もなく国保などで補てんされず、医療機関の持ち出しになっている。協同病院では、相談を重視し、まず公的制度を使えるかどうかを確認し、使える場合は申請手続きを行い、制度がない場合は無低診（無料低額診療事業）を使うプロセスですすめるといいます。

本来は政治や公的責任で実施すべきであり、民間が医療費や運営資金を持ち出すべきでない。しかし目の前で病や怪我で倒れている人を助けられない訳にはいかないのです。関東では群馬の北関東医療相談会（AMIGOS）が検診、検診結果の説明、要治療者のフォローを実施していて首都圏では川口、清瀬で連携して年1回平均で医療相談会を開催している。政府や都道府県には公的支援を求めると同時に、「反貧困ささえあい基金」で給付した外国人で病院に行きたくても行けない方の情報を把握している。どのような手法であれ、医療に繋げる取り組みを真剣に考えている。

#### 3. 『NPO 法人日越ともいき支援会』の結成し支援活動を行なっている

8月6日、日新窟を拠点に『NPO 法人日越ともいき支援会』を結成し支援活動を行なっている吉水慈豊さんからSOSが入った。「生活困窮に苦しむベトナムの若者たち16名を日新窟に預かっている、全員がお金がない。助けて欲しい。」送金して解決しようと考えたが、状況を把握する事と今後の日越ともいき支援会との関係づくりが必要と考え、移住連の稲葉奈々子さんと一緒に訪問した。10名の若者たちが待っていてくれて、ひとりひとりの状況を直接聴かせて頂いた。多くは技能実習生だった。縫製やうどん工場で働いていたが、給料から毎月2万円ピンはねされ、失業手当もでない。経営が厳しくなると真っ先に解雇される。20代の青年は、鳶職で働いていた。社長に鉄パイプで殴られて指も骨折、腕に深く切り傷が

あった。昨日、吉水さんは、5人を保護した。お金が無い、住むところが無い、仕事が無い元技能実習生。出頭して仮放免で短期ビザになった若者たち。コロナ禍、学費が払えず退学した留学生もいた。失踪した若者達が、出頭すると仮放免となる。現在は短期ビザになるが、就労不可、このような状況の若者が激増してます。『せめて出国する日まで、就労出来る様にして欲しい』それか国が住む所と、食べる事を支援して欲しい。吉水さんは言います。今日はひとりひとりに状況を聞いた後に1人当たり2万円の給付金を手渡ししました。

#### 4. 反貧困緊急支えあい基金支援対象者からのメッセージ(10名 申請日 7.1~7.22)

①52歳、男性、スリランカ、仮放免) 申請日:7/1 茨城県水戸市在住

妻(フィリピン国籍)と子ども2人と賃貸アパートで暮らす。所持金 1~2万円。

入管施設に収容されていたが、2020年5月仮放免になった。仮放免で仕事ができないため、家族の負担を少しでも軽くしたい。

##### ●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

支援金はほとんど生活費に使わせてもらっています。妻も娘も仕事の時間が減ってしまい、娘は1か月に10日しか仕事がなく、夜バイトを始めました。支援金は助かりました。私は、病院で検査を受けたが、どこも悪いところはなく、健康なので仕事ができればしたいです。ありがとうございました。

②45歳、男性、スリランカ、仮放免 申請日:7/1 横浜市在住。

日本人の知人と暮らす。家は知人の持ち家。所持金なし。入管施設に収容されていたが、2020年4月仮放免になった。知人の家に住んではいるが、仮放免のため仕事ができないので、生活費に充てたい。

##### ●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

仮放免になってからは、健康状態は普通になった。仕事をしてはいけないのは、ずっと何もしていないのと同じ。運転免許証を更新したいと考えているが難しくなっているらしい。仮放免で身分証がないため、運転免許証があれば身分証になるから。支援金は、生活費や難民申請の翻訳代に使わせてもらう。ありがとうございました。

③夫(49歳 男性 中国 仮放免)、妻(42歳 女性 中国 仮放免) 申請日:7/6 埼玉県戸田市在住

夫婦でマンション(持ち家)で暮らす。所持金2万円。

夫婦共仮放免で仕事ができず苦しい生活を送っている。夫は入管施設に収容されていたが、2014年3月に仮放免になった。日本生まれの娘は中学生で、家族の中で唯一在留資格がある。九州の親せきに預けられている。マンションを売って中国へ帰ろうとしたが、マンションは売れず、コロナ禍で帰国もできなくなった。入管に問い合わせると、8月には飛行機のチケットがとれるかもしれないとのことだがわからない。

コロナ禍以前は、中国からの仕送りがあった。コロナ禍後は、仕送りが途絶えてしまった。娘に会いに九州へ行きたいが、それもできない。

##### ●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

夫妻は現在中国に帰るため準備を進めている。

##### ・妻からのメッセージ

サイン証明書(日本でいう印鑑証明のようなものらしい)を取得しないと中国に戻れないので、先日中国大使館に行ったが、大使館が閉まっていて、証明書が取れなかった。住んでいるマンションは、まだ売却できていないし、二人共仕事ができないので、生活は苦しい。いただいた支援金は、生活費や帰国の準備に使わせてもらっている。大変有り難い。娘(家族の中で唯一在留資格が認められた。九州の親せきに預けられていた)が福岡から帰って来て、今は親子3人幸せだ。しかし、早く中国に戻りたい。娘に仕送りを

しなければならぬため、日本には仕事ができないので困っている。1日も早く中国へ帰国すれば、日本に戻って来られる日も早くなる。

・夫からのメッセージ

「この度は支援金を支給してもらい誠にありがとうございます。支援金のことは、牛久の会の●●さんから教えてもらいました。支援金は家計に一部、それから娘の学習参考書などに使いました。今困っているのは、4年間の収容で収入もなく、家賃（マンションのローン）の支払いと生活費で借金が増えることです。動けるのに働けなくて、家族に悲惨な生活をさせるのが一番辛いです」「いろいろ助けてもらい、この世はただ冷たいだけでなく、暖かい心を持つ人が大勢いるのを実感しました。それを信じて精一杯生きていこうと思います」

④51歳、男性、パキスタン、仮放免 申請日：7/6 千葉県野田市在住。

友人と賃貸アパートに住む。所持金 7000 円。仮放免で仕事ができないので、生活費や品川(東京入管)に行く交通費や医療費などに必要。コロナ禍以前は、友人たちが経済的に助けてくれたが、長く続くコロナ禍の状況で彼らのビジネスも減り、支援の余裕がなくなったので助けてもらえなくなった。

●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

ありがとうございました。歯が痛むので、これから歯医者に行くつもりだが、保険がきかないのでお金がかかるのが困る。イスラムのお祈りの時にも、皆んなでいろんな物を買って、分けることになっている。仮放免で仕事ができないのは、本当に困る。

⑤48歳 男性 コロンビア 仮放免 申請日：7/6 横浜市南区真金町在住

賃貸アパートに一人で住む。所持金 3500 円。コロナの事態になり、教会や友人のところに行けなくなった。なるべくアパートにいるようにしている。支援金は食費、交通費、医療費などに使いたい。

●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

収入は、友人が引っ越ししたりする時の手伝いで、謝礼をもらう程度なので、支援金はとても助かりました。ありがとうございました。最近漢字の勉強を始めた。今は1日のうち短時間だが外を歩いたりしている生活が続いている。コロナ禍以前は、スペイン語の個人レッスンもしていたが、コロナ禍でできなくなってしまって、ますます生活が厳しくなっている。首と腰が悪く、整骨院にも行っていたが、保険に加入できないので、支払いが厳しく、なかなか通院するのが難しい。

運転免許は8年前に取得し、介護の研修も受けていて、日本語は9月にN2を受験する予定。仕事ができれば、在留資格を得られるまで、自分の生活は自分で守る事が出来るので、せめて仕事ができるようにして欲しいです。

⑥51歳 男性 バングラディッシュ 仮放免 申請日:7/15 千葉県我孫子市在住

妻(日本人)と賃貸アパートに住む。所持金なし。コロナ禍が起こってからは、生活苦に陥っている。妻はレジのアルバイトをしているが、コロナ禍の影響と彼女の持病の糖尿病のため、仕事が激減。生活が困窮している。

●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

仮放免なので、仕事ができないため、糖尿病の妻の働きで生活を送っています。糖尿病は、コロナウイルスに感染すると重症化する恐れがあるので、妻に仕事を辞めて欲しいが、仕事に行かないとすぐに首になってしまい、生活も困窮する。また、妻が仕事を辞めれば、入管が誰が生活を支えているのかと聞いてくるので、辞めることは難しいです。日本は大好きです。●●さん、●●さん、●●さんのような人達もいるので、日本人は大好きです。これからも一緒に頑張りたいです。支援金すごく感謝しています。

⑦52歳 男性 スリランカ 仮放免 申請日：7/15 茨城県阿見町在住

スリランカ人(永住者)と彼の持ち家で暮らす。所持金なし。

入管施設に収容されていたが、2020年6月10日に仮放免になった。仕事ができないため、生活資金としたい。

●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

(支援金を受け取って)本当にありがたい。今は友人に全てを頼っている状況だが、今後、アパートを借りることを考えているので、その足しにしたい。今は特に何もしていない。ほぼ一日中、家にいる。健康状態は良好。

\*お金を手渡した支援者によれば、●●さん本人は、支援金を受け取ることが入管に悪印象になるか気にしていたとのこと。そこで、今回、●●さんが支援金を受け取ったという情報は入管には漏らさないから大丈夫と伝えた。また、移住連等による政策提言の際にも個人名は漏らさないから安心してほしい、さらに仕事禁止、コロナ禍で仕送りや友人の支援も途絶えがちの状況で、支援金を受けるのは正当である、と伝えたとのこと。

⑧53歳 男性 バングラディッシュ 仮放免 申請日：7/15 群馬県太田市在住

外国籍の妻(永住権)と賃貸アパートで暮らす。所持金なし。入管施設に収容されていたが、2020年4月21日に仮放免になった。仕事ができないため、膝の病気、痔疾、高血圧などの治療費が捻出できない。妻の仕事もコロナ禍以前は、8時間だった勤務時間が5時間に短縮されてしまい、生活が苦しい。

●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

ありがとうございました。支援金は、家賃と病院の支払いに使うつもりです。病院の支払いは保険にできないので高額になります。相変わらず、妻(在留資格あり。派遣社員)の仕事は時間が短縮されたままで、生活は苦しい状態が続いています。ビザのある人でも、仕事がなく生活は大変なのに、私たちビザのない人は、もっと大変になっています。

⑨43歳 男性 スリランカ 仮放免 申請日:7/22 埼玉県児玉郡美里町在住

スリランカ人(留学ビザ)と一戸建ての借家で暮らす。所持金 5000円 仮放免のため仕事ができない。また、糖尿病や心臓疾患を抱えているので、生活費や通院費に充てたい。コロナ禍以前は、友達からの支援を受けることができたが、コロナ禍後は、友達も仕事が激減したため、支援が受けられなくなった。

●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

ももとの糖尿病や心臓病は、北関東医療相談会に助けられているが、今回歯が痛み出したので、その治療費に使いたい。保険がないため、自費なのでとてもお金がかかるので、本当に助かります。感謝しています。今度入管に行ったら、「ボランティアから支援をしてもらった。本当は仕事ができれば、生活ができるのに」と、言ってやりたいです。

⑩59歳 男性 スリランカ 仮放免申請日:7/22 千葉県船橋市在住。

賃貸アパートで独り暮らし。所持金なし。

2019年12月25日に仮放免になった。仮放免になっても仕事ができないが、収容されていた時に糖尿病が悪化し、心臓疾患もあり、ニトロベンを服用している。収容中に膝も悪くなって歩くのに支障があるため、仕事に就くことはできない。コロナ禍以前も以後も同じように困窮している。アパート代と食物は、保証人が援助してくれるが、仮放免のため仕事が出来ず、生活は苦しいので、生活費にしたい。

●支援金を受け取って、本人からのメッセージ

身元保証のスリランカ人が支援してくれていたのですが、コロナ禍で仕事も減って、保証人も生活が厳しくなっています。困っている時に、支援金を支給してもらえたので、大変助かりました。二ヶ月に一回、

山村先生の診療所（港町診療所）に行っている。保険がないので、支払いは大変です。糖尿病の数値は前よりも改善されてきていますが、膝の痛みは手術をしなければ治らないといわれています。

●この世界は完璧ではなく、努力をしても、真面目に働いてもうまく行かないときもある。そういうときに支えとなるのが福祉はずだ。国や政府は、生存権を補償しろ！●私が「新型コロナ緊急アクション」を立ち上げようと考え、「反貧困緊急ささえあい基金」を立ち上げ、多くの市民に呼びかけて寄付金を寄せて頂いて緊急宿泊費と緊急生活費をお渡ししながら、生活保護や福祉制度に繋げる活動を始めたのは、困窮者に冷たい日本の福祉制度が解っていたからだった。「行政の下請け」を支えあう事で解決しようと考えたわけではない。

でもあまりにも酷くないか！所持金がなくて「死にたくないけど死んでしまう」と悲鳴をあげていて、やっと生活保護申請の窓口に来たのに、様々な理由を並べて遠回すような対応を連発したり、劣悪な貧困ビジネスの温床である無料低額宿泊所に押し込んだり、生活保護決定が下りるまでの間、まともな仮払金さえ拠出せず、民間の善意で寄せられたフードバンクの食糧を少量配り「保存食とカップヌードルを食べて食いつなげ」と言う。

アパート探しも責任を持っておこなわず私たちに丸投げする。口から出るのは「アパートはありません。施設に引っ越してもらいましょうかありません。」私たちはアパート探しから引っ越し作業、家具什器を揃え、携帯電話まで準備する。これって民間団体がやるべき事ですか。

**すべての人に生きる権利！**